

町田市内で開発・建築を計画されているみなさまへ

町田市は、町田の‘らしさ’を大切にそれぞれの地域の景観をより良くしていく“景観づくり”の方針を明確にしています。

景観づくりをすることにより、みなさまの計画が地域の魅力を高めることになり、まわりの住民もより一層まちに愛着をもつことができます。まちへの愛着は、草木の手入れなど日々の暮らしに根ざしたまちの景観を整える活動につながっていきます。

このように、みんなでまちを育むことが“景観まちづくり”です。

■町田市景観まちづくりの詳しい内容は下記をご覧ください。

景観づくりの方針や届出制度等について⇒「町田市景観計画」

景観づくりのガイドライン⇒「町田市景観みちしるべ」

市民による街づくりの取り組み⇒「市民が主役の街づくりのすすめ」

■ホームページ

町田市公式ホームページ 暮らし⇒住まい・道路⇒都市づくり

⇒景観づくり⇒「町田市景観計画」「町田市景観みちしるべ」

⇒身近な地区の街づくり⇒「住みよい街づくり条例による街づくり」

発行 町田市 都市づくり部 地区街づくり課

イラスト 多摩美術大学

未来へ、心をつなぐ街へ



朝の陽ざしを浴びて新鮮な空気を吸い込むと
からだにエネルギーが満ち、元気が湧いてきます。
外からの心地よい刺激で、私たちの気持ちは変わります。

日々、暮らしている街をもっと気持ちよく。
そして、将来にわたって暮らしやすい街へ。

誰もが抱く願いをかなえる一歩は、
ひとりひとりの思いから始まります。

2012.4.

「こんなふうに暮らしたい」

家を建てる時、部屋の配置を決めることに熱心な私たち。
庭の緑が感じられるリビングや
子どもたちと会話を楽しめるキッチンにしたい…と。

私たちは“もっと大きな家”で暮らしていることを
つい忘れがちです。

それは多摩丘陵の大地であり、住んでいる地域全体のこと。
何気なくながめている山並み、清らかな川の流れ、
心地よく吹き抜ける風、あたたかな陽ざし。
自然の恵みを受け、地域の人々と共に暮らしていることを。

青い空を飛ぶ鳥の視点でまわりをながめてみましょう。





「これから暮らす街がもっと気持ちよくなるとうれしい」

そんな願いは、ひとりひとりが創り手になればかなえられます。
ゆったりと落ち着いた気持ちで暮らせる、緑豊かな街。
会話がはずみ活気に満ちた、にぎわいの街。

ひとりひとりの思いが集まり、
街に表情が生まれます。



「どんな創り手になろう？」

創り手の視点で街をながめると、
いつもと違った街が見えてきます。

けやき並木の歩道沿いに、きれいに軒を連ねる商店街。
街路樹とつながって見える、緑が映える建物のアプローチ。
行き交う人々の憩いの広場やベンチ。
そして、街のシンボルになっている大きな木のある住宅。

景色を構成しているひとつひとつが誰かの意思で作られ、
多くの人々に支えられていることに気づきます。

それがわかると、
街からぬくもりが伝わってきます。



「この街を大切にしたい」

そんな思いは共感を呼び、
きっと、次の行動につながっていくことでしょう。

街は、生き物。
私たちの心を映し出します。

「心豊かに暮らせる街へ」

次の世代である子どもたちのためにも、
みんなで街を育てていきましょう。

